

冷却ガス噴出の正常動作確認について

本装置には皮膚表面を冷却するシステム（DCD）が装着されております。冷却ガスが偏って噴出された場合、凍傷によるものと考えられる一過性の色素沈着や色素脱失、また部分的な冷却不足による熱傷等が生じる可能性があります。下記手順により、治療前に冷却ガスが正常に噴出されているかどうかを必ず確認の上、ご使用ください。

<ユーザー様によるDCD動作確認>

動作確認に用意するもの

○ディスタンスゲージ（7mm 径）

○サーモペーパー

以下の手順にて、冷却剤のスプレーノズルがディスタンスゲージ先端リングの適切な位置に向いていることを確認下さい（冷却剤噴出方向の確認）。

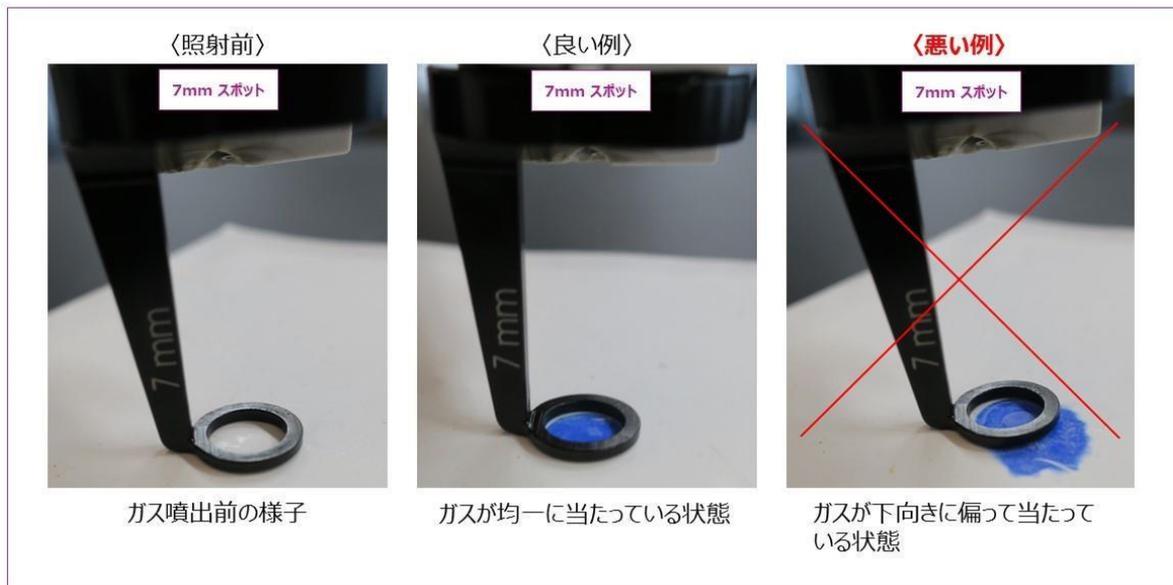
手順：

1. 本装置を「STANDBY（待機状態）」にする。＊レーザーを照射する必要はありません。
2. DCD スプレーは **30ms**（ミリ秒）にセットする。
3. 専用の 7mm ディスタンスゲージをハンドピースにしっかり奥まで挿入する。

サーモペーパーを用いて、サーモペーパーに対してディスタンスゲージを垂直に当て、

「PURGE」ボタンを押す。先端のリング内が均等に冷却されているかどうかを目視確認する。

（裏面参照）



*** サーマーパーは冷えると青色に変色します。明らかに偏り（悪い例）が見られる場合、異常と判断ください。**

4. 異常と判断された場合、予備のデリバリーシステム（ハンドピースとファイバーが一体化した部分）に交換ください。また、予備のデリバリーシステムをお持ちでない場合、治療を一旦中止頂き、カスタマーコールセンターまで即座にご一報ください。

（フリーダイヤル 0120-954-760）

ハンドピースを床に落としてしまった、ぶつけてしまった場合にも、デリバリーシステムが正常に作動するか、上記手順を実施下さい。

以上
シネロン・キャンデラ株式会社
サービス部